

# 世界農業遺産を活用した 持続可能な地域農業による地域づくり

大崎市産業経済部世界農業遺産推進課 課長 高橋直樹

大崎耕土  
世界農業遺産

OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS



# 宮城県大崎地域

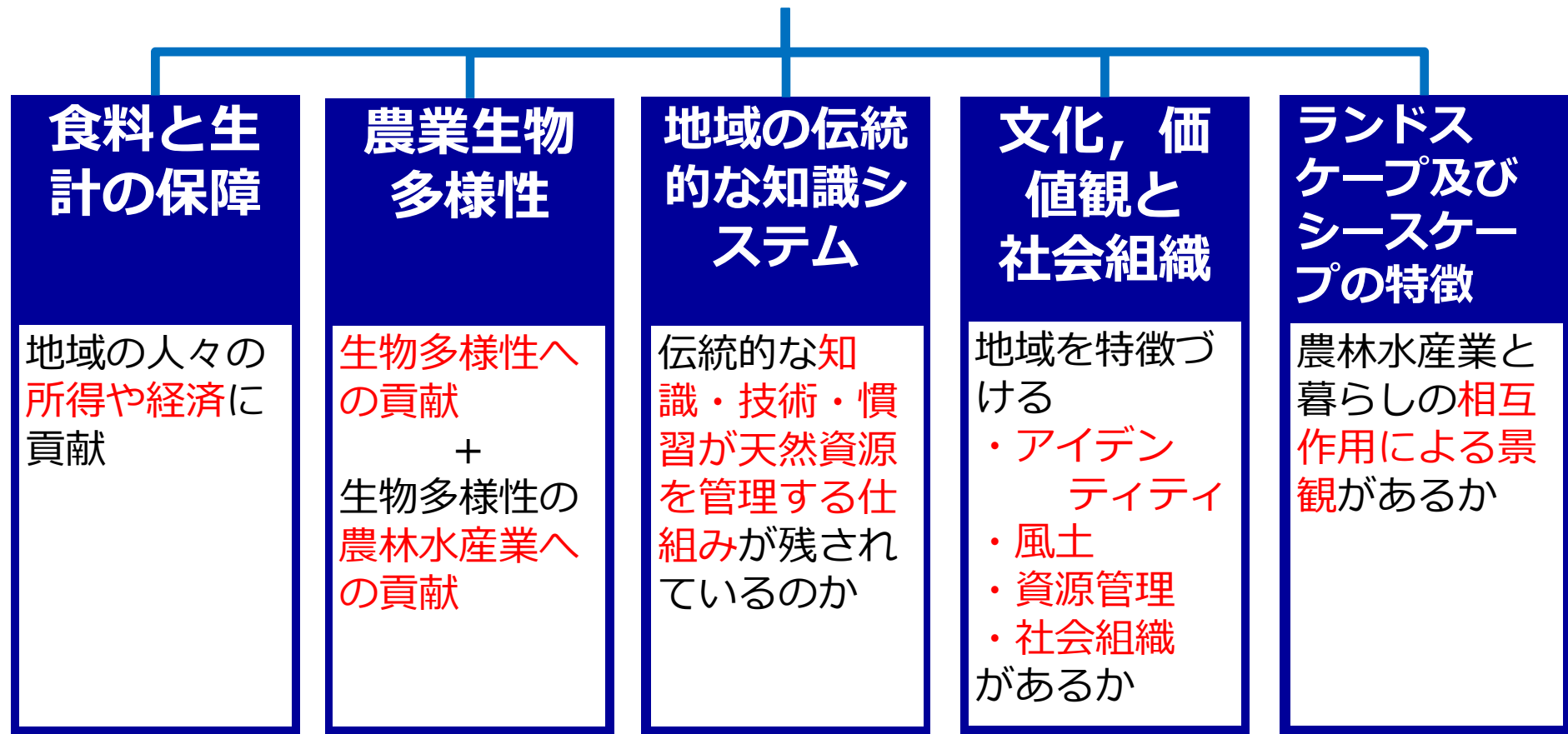




# 国際連合食糧農業機関 『世界農業遺産』

Food and Agriculture Organization of the United Nations

G I A H S : Globally Important Agricultural Heritage Systems





# 世界農業遺産認定 11 地域



# 世界農業遺産 × S D G s

- 世界農業遺産 ⇨ 国際連合食糧農業機関が認定
- 世界農業遺産「大崎耕土」を守り，未来に残す取り組み
  - ⇨ 農業の開発・発展＋地域振興だけでなく，地域の水や森林などの天然資源や生物多様性などを持続可能な方法で利用することにつながる

S D G s の達成に貢献するもの





# 農業が育む暮らし・文化・生物多様性の価値が世界的に認められた大崎耕土

未来に伝え・残したい

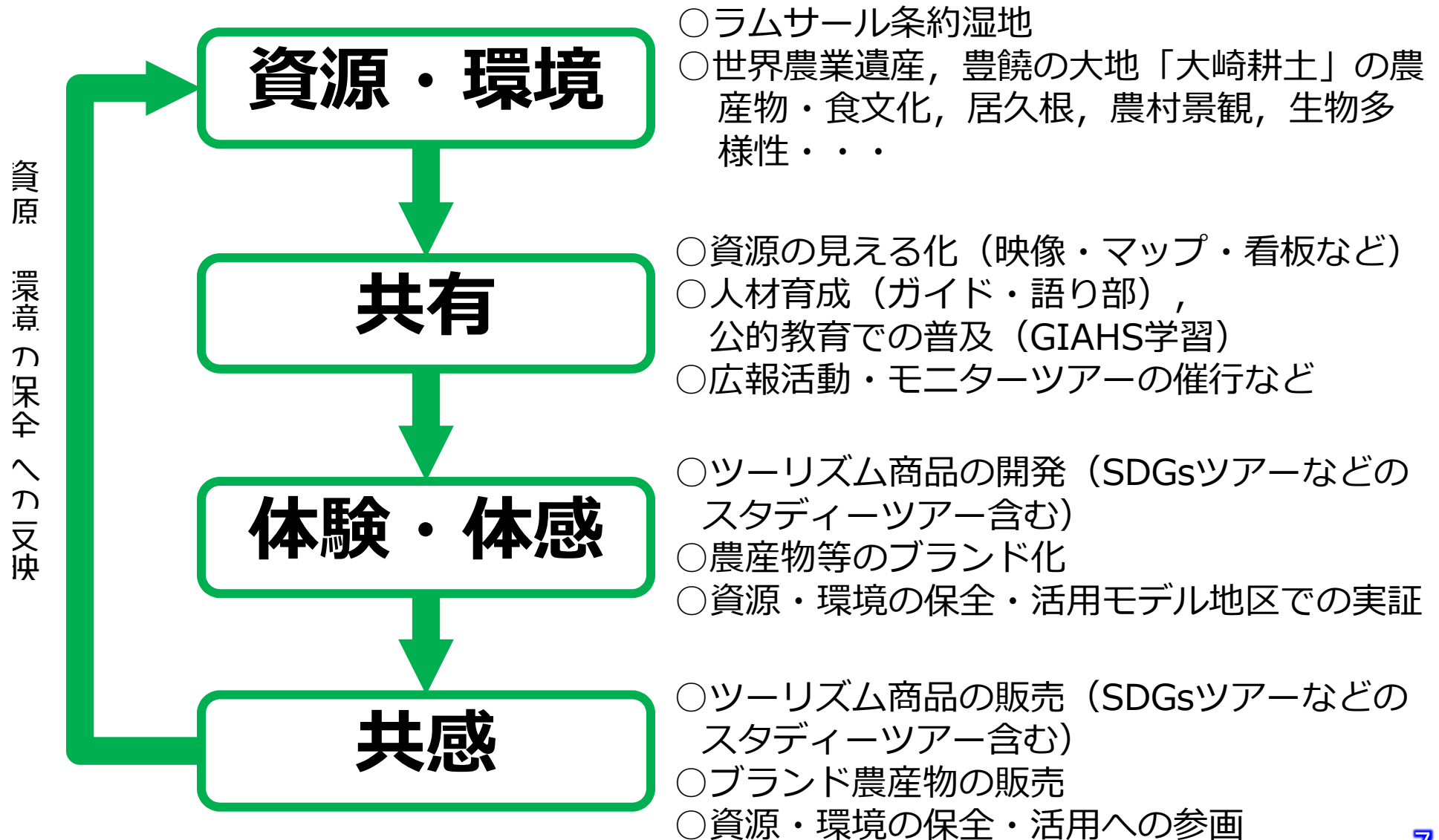
守る価値があることを知る

= 有用・大切

活用から考える保全

『守るために活かす』アクション

# 「守るために活かす」取り組みの方向性





## コンテンツ

### ブランド認証品



### フィールドミュージアムマップ



### たべるフィールドミュージアム



### 散策マップ



### 映像&案内板 (多言語対応)



### Web (多言語対応)



### 副読本概要版



### 居久根 パンフレット



見える化の取組は令和2年度でほぼ完了

活用

## 外向け

### 大崎耕土ツーリズム

#### モニターツアー

- ・たべるフィールドミュージアムのブラシュアップ
  - ・居久根などの地域資源を活用
  - ・オンラインツアー
- ※地方創生推進交付金事業

#### 全国農泊ネットワーク宮城大崎大会

- ・世界農業遺産分科会の設置
- ・オプションツアー  
(GIAHSツーリズムの試行)

#### 教育旅行との連携

- ・副読本概要版等を活用
- ・関係団体制作物の活用  
(例：OSAKI KOUDO SDGsクエスト・発行(一社)みやぎ大崎観光公社)

## ソフト事業への移行

地域内外への  
普及・啓発  
保全意識の醸成

交流・関係  
人口の拡大へ

活用

## 内向け

### 教育

- ・副読本の活用普及
- ・公民館職員対象研修
- ・公民館事業

### 語り部育成

- ・語り部養成講座



### 居久根保全活動

- ・モデル地域でのボランティア
- ・支援企業とのマッチング  
(CSV)

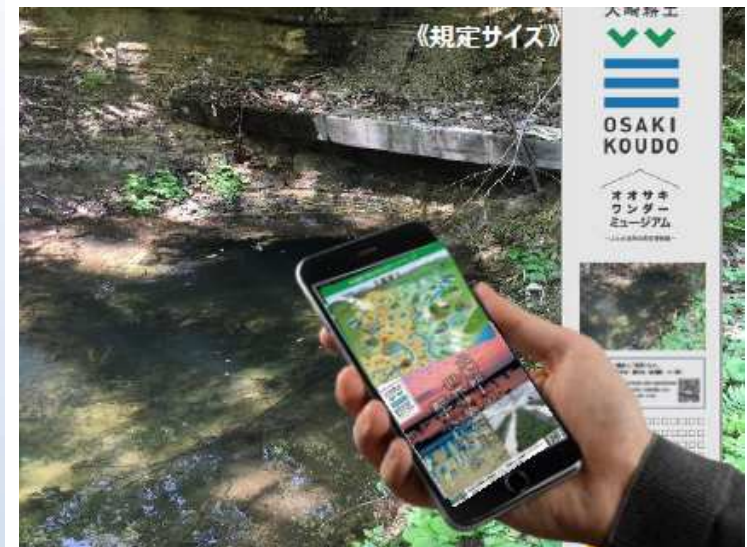


## 映像化と案内板

### 《ねらい》訪問スポット（案内版）と映像で更なる関心を促進

来訪者が現地を訪れ、フィールドミュージアムをより楽しむための映像、また、来訪者や地域住民が映像を通じ、地域資源をより深く理解する機会として活用。

映像と一体となった案内板（QRコード付）を設置。



# 先人の知恵と大崎耕土の価値を伝える映像30本



# 世界農業遺産ブランド認証制度

**世界農業遺産「大崎耕土」の価値を伝え・営みの持続可能性に貢献する認証制度として**

- 高い品質と安全・安心**
- 伝統的な知恵の活用（継承）**
- 都市と農村のエシカルな価値観の共有**



# 米



R 2実績

◆申請面積：約680ヘクタール

◆申請者数：370人

(個人・法人11, 団体等8 (農家数359人))

# 岩出山凍り豆腐



R 2実績

◆申請数量：約27トン

# 日本酒 (R 3~)



# 野菜 (R 3~)





# 田んぼの生きもの モニタリング



生きものを通して米づくりを深く考える

おいしいだけじゃない

足元の生きものに目を向ける農家がつくる米

**「加美農米」世界農業遺産ブランド認証**

古川でお披露目兼ね即売会  
31日に岩出山、来月1日に二本木でも

「加美農米」を売り込む生徒たち（25日）

大崎農産物直売所  
土特産大  
室敷業農界世

加美農米の特別栽培米「加美農米」が今秋、世界農業遺産（二天崎耕土ブランド認証）島に加わり、25日には道の駅おさき（大崎市内）でお披露目兼ね即売会が行われた。品種はひとめぼれ。

同校農産物の作物専攻班が主体となり、食と農の安全や環境保全を示す「GAP（ジエニギャップ）」規格に基づき育てた。一般的な稲作と比べて農薬と化学肥料の使用量を低減しているのが特徴。安全なだけでなく、味にも自信あり」と生徒たち。一袋2kg入り1000円（税込み）。即売会では、作物専攻

卒業の、3年生計6人が校舎入り法被装で呼び込みの声を響かせた。売れゆきは上々の様子で、3年の吉田祐里さん18は「厳しい規格と審査に苦労したが、収穫の喜びが大きい。たくさんの人に食べてもらいたい」と期待していた。今回のブランド認証を踏まえ、同校は「加美農米」の生産と販売

に加え、小田原市岩出山、11月1日には道の駅三本木（同市三本木）でも行われる。時間はともに午前9時半～午後2時。

ら・伊達道の駅（同市岩出山）、11月1日市三本木）でも行われる。時間はともに午前9時半～午後2時。

## 散策マップ等を活用した生涯学習 (ウォーキング企画・11エリア対象)



- 生涯学習課による**公民館職員対象**の勉強会  
公民館職員が世界農業遺産の概要及び各地域にまつわる歴史ストーリーなどの知識を身に付ける

市民へ展開

- 地区公民館等による**住民対象**イベントの開催  
公民館職員が住民を対象に世界農業遺産を説明
  - 地域内の施設・史跡等を中心に説明
  - 各地域資源を散策しながら現地見学



# 世界農業遺産 副読本

(R 2 から配布開始)



- 「大崎耕土」を築きあげた先人の知恵を次世代に継承し，地域への誇りの醸成と理解促進
- 令和2年度から，大崎地域（1市4町）の小学校3～6年生の全生徒に配布し，学校教育で活用

## コロナ禍で活用状況は？

- 地域内43校中，41校において活用
- 活用した授業科目  
社会，理科，総合学習など
- 未活用の理由（主なもの）
  - ・複式学級のため次年度活用予定
  - ・学習時間が確保できなかった

水田や水路, 屋敷林  
「居久根」がつなぐ大崎耕土③

- 屋敷林「居久根」やその周りの水田や水路で見
- られる生き物のようすが季節によってどのよう
- になるかを調べよう。



**調べてみよう**

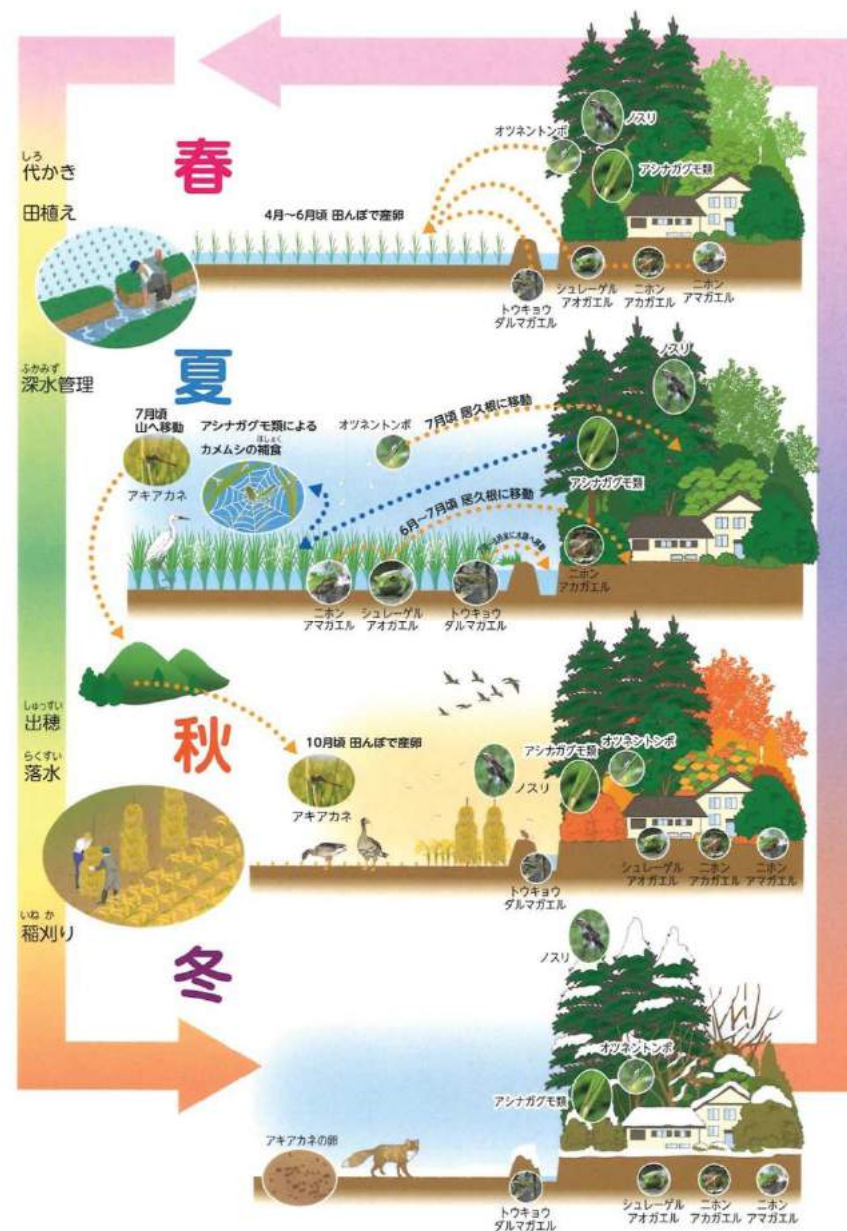


**まとめよう**

屋敷林「居久根」やその周りの水田や水路で見られる生き物のようすの変わり方と暖かさとの関係について、興味を持ったことをまとめましょう。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高气温(℃)	3.6	4.6	8.4	15.2	20.1	23.2	26.3	28.5	24.4	19	12.6	6.8
平均气温(℃)	-0.1	0.5	3.5	9.4	14.6	18.5	22	23.7	19.7	13.6	7.5	2.7
最低气温(℃)	-3.8	-3.4	-0.9	3.8	10	14.8	18.8	20.3	15.8	8.7	2.7	-1.1

大崎市古川 年平均気温：11.3℃ 年降水量：1171.3 mm 統計期間：1981～2010年





# 副読本活用ガイド

## ◇活用できる対象単元は？

- ・何年生の何の科目など
- ・対象として想定している単元情報を掲載

## ◇このページのポイントは？

- ・発行者の視点で見てほしいポイントを紹介

## ◇調べ・まとめへのアドバイス

- ・例示をして、農業や地元の風土に詳しくない先生にも使いやすく

○各学校ではどのように活用しているのか？ **上手な活用・参考となる活用**を共有

**教員間の情報共有のための研修会を今秋開催！**

### 9 水田や水路、屋敷林「居久根」がつなぐ大崎耕土②

#### 9 水田や水路、屋敷林「居久根」がつなぐ大崎耕土③

屋敷林「居久根」やその周りの水田や水路で見られる生き物のようすが季節によってどのように変わるかを調べよう。



屋敷林「居久根」やその周りの水田や水路で見られる生き物のようすの変わり方と暖かさとの関係について、興味を持ったことをまとめよう。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(℃)	3.6	4.1	8.4	15.2	23.1	25.2	26.3	26.5	24.4	19	12.6	6.8
平均気温(℃)	-0.1	0.5	5.5	9.4	14.8	18.5	22	23.7	19.7	12.6	7.8	2.7
最低気温(℃)	-3.8	-3.4	-0.9	3.8	10	14.8	18.8	20.3	15.8	8.2	2.7	-1.1

◎大崎市古川 年平均気温：11.3℃ 年降水量：1171.3mm 統計期間：1981～2010年

30



#### ◇対象単元：4年生 理科

生き物の1年をふり返って

#### ◇ページ構成のポイント

・水田や水路、屋敷林「居久根」の四季ごとの生き物の様子（生息先など）を図解入りで紹介しています。特に、居久根が重要な役割を担っていることを解説するものになっています。

#### ○調べてみよう

<例>

周りの水田の稲の成長と木々の色の移り変わりに気付けるように工夫しています。

#### ○まとめよう

屋敷林「居久根」やその周りの水田や水路で見られる生き物のようすの移り変わり方と暖かさとの関係について、興味を持ったことをまとめよう。

<例>

- ・水田や水路に水のある時期、無い時期の生き物の動き
- ・害虫と生き物の関係
- ・アキアカネの高地への移動理由など



# 高校・大学生向け探求型SDGsワークブック 『OSAKI KOUDO SDGs QUEST』

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

## OSAKI KOUDO SDGs QUEST

大崎耕土SDGsクエスト

CONTENTS

INTRODUCTION

- QUEST 1 日頃、ご飯を食べていますか？  
QUEST 2 田んぼの水はどこから来る？  
QUEST 3 日頃、お味噌汁を飲んでいませんか？  
QUEST 4 超久根は何のために作られたのか？  
QUEST 5 田んぼの生きものと遊んだことがありますか？



The Sustainable  
Development Goals



### INTRODUCTION

「大崎耕土SDGsクエスト」は、  
世界農業遺産認定地域でのSDGs学習を通じ、  
社会課題の解決策を探究するワークブックです。

私たちが生きる現代の日本は、一見平和で快適ですが、同時に沢山の課題に直面しています。過疎高齢化、気候変動、目に見えない貧困、差別、農山村の荒廃……。今、持続可能な社会とは、日本とは何なのか、改めて考え行動し、未来を創造していくことが一人ひとりに関わっています。

「大崎耕土SDGsクエスト」は、大崎耕土に暮らす人々が育み継承してきた土地利用・技術・文化風習・生物多様性などを、調査・学習を通じて探求し、社会が直面する課題解決に結びつけるためのツールです。

このテキストに書かれているのは、考えるために必要な最低限のヒントだけです。そして、このテキストに書かれている問いには、明確な「模範解答」もありません。

2017年に国連食料農業機関（FAO）より世界農業遺産に認定された大崎耕土には、これからの世界を考えるための、多くのヒントがあります。大崎耕土を調査・探求し、自分だけの「答え」を発見してください。

世界農業遺産システム (GIAHS)  
Globally Important Agricultural Heritage Systems

社会や環境に適応しながら何世代にもわたって形づくられてきた農業上の土地利用、伝統的な農業と、それに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農業システムを、国際連合食糧農業機関（FAO）が認定する仕組みで、FAOが定めた5つの基準と保全計画に基づき評価されます。令和2年6月現在、世界22カ国62地域、日本では11地域が認定されています。

■世界農業遺産認定基準

1. 食料および生計の保障
2. 農業生物多様性
3. 地域の伝統的な知識システム
4. 文化、価値観及び社会組織
5. ランドスケープ及びシースケープの特徴・システム持続性のための保全計画

【関連情報】



### 「SDGs」とは？

SDGsとは2015年の国連サミットで採択された、持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

SDGsは17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。このテキストを聞いた皆さんは、おそらく17のゴールについては知っていることでしょう。しかし、169のターゲットを詳細に知る人は少ないと思いますので、SDGsをより深く理解するため、テキストでは17のゴールだけでなく169のターゲットについて紹介しています。

またSDGsは、「将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現代のニーズを充足する開発」と定義されています。そして、これらを達成するためには「経済成長」「社会的包摂」「環境保護」という3つの主要素を調和させることが不可欠です。

この概念を端的に表したのが、スウェーデンの研究者ヨハン・ロックス・トローム博士が考案した「SDGs ウェディングケーキモデル」です。経済の成長には社会組織が不可欠で、かつ社会の維持には自然資本が不可欠であるとも言えるでしょう。



Stockholm Resilience Center, "How food connects all the SDGs", Stockholm Resilience Centre, 2016-06-14, <https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>, (参照：2021-02-07)

次のページから始まる QUEST は、大崎耕土の世界農業遺産をフィールドに、自分の暮らし・地域・世界の課題とその解決について考えるものです。合言葉は「Think Globally, Act Locally and Share Globally」です。

【関連情報】



#### QUEST 4

### 居久根は何のために作られたのか？

KEYWORDS 農業生物多様性、里山、屋敷林、景観

### 水田の中に浮かぶ 生物多様性の森、「居久根」。

大崎の水田地帯には、そこで農業を営む人々が住む屋敷があります。これはきめ細やかな水管理や農作業を行うのには都合が良いのですが、他方で遮るものがない水田地帯に住むことは、冬の北西風や洪水被害などの危険がありました。

そこで、農家は家屋を包み込むように「居久根」と呼ばれる屋敷林を配置することで被害の軽減を図りました。居久根に囲まれた農家の屋敷には、暮らしに必要な水路、野菜など日々の身近な食料を収穫するための畑があります。樹木の下枝や落ち葉は燃料や肥料に、間伐される木は材料や燃料に、木の実・果実・草花は食料や薬にもなります。居久根は防災だけでなく、農家の自給も支えました。

居久根が守るのは、人間だけではなく、居久根の周囲に流れる用水路にはドジョウ・小エビなどが生息しています。また、トンボやカエルなど水稲害虫の天敵となる土着生物も育み、米づくりを手助けしています。

近年では、生活様式の変化や高齢化の影響により、居久根の管理が行き届かなくなることも危惧されていますが、地域住民・企業・NPO法人・教育機関などによる保全活動や教育活動への活用が行われています。

田園風景が広がる場所に行くと、随所に屋敷を囲む小さな林があります。全国には様々な屋敷林がありますが、どのようなものなのでしょうか。居久根と何がどのように異なるのでしょうか。



#### 居久根の「3つの知恵」

居久根とともに生活する農家が、長い時間をかけて育んできた知恵が、以下の3点にまとめられます。

1. 防災の知恵 洪水による流木や強風から屋敷を守る。
2. 自給の知恵 薬草や畑の野菜などが生活を支える。
3. 営農の知恵 きめ細やかな水管理や、農作業に適した立地がトンボやカエルなどの水稲害虫敵を育む。

# 大崎耕土の今を知り、未来に継承するための課題解決プログラム

#### SDGs TARGETS

- 目標 2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標 11 包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
  - 11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。
- 目標 15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
  - 15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。

#### RESEARCH & ACTION

1. ここで紹介した以外にも、居久根にはどのような特徴や知恵があるでしょうか。
2. あなたの住む地域の景観にはどのような特徴があり、どのように形成されてきましたか。
3. 里山や屋敷林の保全を推進するため、SDGsに170個目のターゲットを書き入れるとしたら、どこに何を書き入れますか。

#### 関連情報



#### SDGs TARGETS

- 目標 2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標 11 包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
  - 11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。
- 目標 15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
  - 15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。

#### RESEARCH & ACTION

1. ここで紹介した以外にも、居久根にはどのような特徴や知恵があるでしょうか。
2. あなたの住む地域の景観にはどのような特徴があり、どのように形成されてきましたか。
3. 里山や屋敷林の保全を推進するため、SDGsに170個目のターゲットを書き入れるとしたら、どこに何を書き入れますか。

#### 関連情報



## ◆特徴

- ・ 内容はヒントのみ、模範解答はない
- ・ SDGsのターゲットと連動
- ・ 『問』に対する自分なりの『答え』を導き出すプログラム

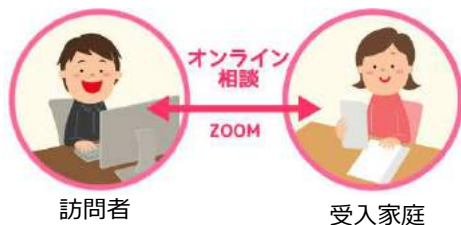


## 旅マエ

オンラインによる密集回避

**情報・学習  
(オンライン)**

情報収集, 事前オリエンテーション  
(映像, ビデオ会議システム, 受入  
家庭とのコミュニケーション)  
事前オンラインツアーなど



## 旅ナカ

体験による密閉回避

**体験・食・交流  
(現地)**

農泊, 農作業, 食文化, 伝統工芸体験



## 旅アト

思い出利用による密接回避

**思い出・つながり  
(郵送・オンライン)**

地域産便の購入, 農産物レシピの提供など





# 旅マエ:オンラインツアー

## 世界農業遺産大崎耕土で始めるSDGsライフ

### 発酵食 & 和食で免疫力アップ

(令和3年2月開催)





# 教育旅行でもSDGs に注目が集まっている



みやぎ  
感DO  
プログラム

## 宮城県 教育旅行 ガイドブック

～出会い・発見・感動 君の豊かな感性に ひびく「みやぎの学び旅」～



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



みやぎ大崎観光公社

17

### 世界農業遺産「大崎耕土」



#### 世界農業遺産とは

社会の環境に応じて何世代にもわたり継承されてきた特色のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化・景観・農業と関りのある生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な仕組みを、国際連合食糧農業機関が認定する制度です。

#### 大崎耕土とは

江合川・鳴瀬川、2つの河川流域に広がる河川氾濫原を拓き、広域の水田農業地帯として発展してきた地域です。

### 1 世界農業遺産に認定された大崎耕土で 生物多様性と自然との共生を学ぶ

大崎市・加美町・涌谷町・美里町・色麻町1市4町連携

受入可能人数 40人

所要時間 約3時間 ※移動時間も含む

ラムサール条約湿地「化女沼」は水鳥の重要な越冬地で、NPO法人団体による保全活動により多種多様な水草、四季折々の草花が見られます。そして、世界農業遺産に認定された広大な「大崎耕土」の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根（いぐね）」の居久根は、雨風から家を守るだけでなく、その敷地内の庭や畑を守り、またそこに住む様々な生き物たちの生息の場としての機能を果たしています。本プログラムでは、「化女沼」保全団体のガイドのもと植物と環境保全について、「居久根」の役割やそこでの生活を学ぶことにより、先人の知恵を継承し、次世代へ継承していきます。

◎説明（化女沼ダム観光資料館30分程度） ◎散策（化女沼と化女沼環境ゾーン90分程度） ◎居久根の説明・散策（30分） ◎総括（10分）

■受入可能期間／通年 ■料金／1,000円～（1人） ■該当市町村／大崎市・加美町・涌谷町・美里町・色麻町（みやぎ大崎観光公社）



### 2 世界農業遺産の地で育まれた食文化を学ぶ

大崎市・加美町・涌谷町・美里町・色麻町1市4町連携

受入可能人数 40人

所要時間 約2時間

農家の「ごっつおう」（ご馳走）といえは餅で、古くからお祭りやお祝い事、おもてなしなどの行事食として食べられてきました。特に全国トップクラスの生産量を誇る大豆を使った伝統食「ずんだ」を使った「ずんだ餅」は有名で、この「ずんだ餅」づくりを通して、世界農業遺産の食文化や、食の大切さを学びます。



◎説明【5分】 ◎ずんだ餅づくり体験【60分】 ◎実食【50分】 ◎総括【5分】  
■受入可能期間／通年 ■料金／2,000円（1人） ※別途会場代、会場設営費がかかります。 ■該当市町村／大崎市・加美町・涌谷町・美里町・色麻町（みやぎ大崎観光公社）



### 3 世界かんがい遺産「内川」周辺の フィールドワークを通して 水管理システムを学ぶ

大崎市・加美町・涌谷町・美里町・色麻町1市4町連携

受入可能人数 40人

所要時間 約2時間

世界農業遺産に認定された「大崎耕土」は江合川・鳴瀬川という2つの河川流域に広がる広大な水田農業地帯です。大崎耕土は、季節風「やませ」や洪水、水不足など、米作りをするには厳しい地域ですが、水路の開拓や洪水対応など、苦勞を重ねながら、水を巧みに管理する「水管理システム」を構築しました。本プログラムでは、伊達政宗公が切り開き、現在は世界かんがい遺産に登録される「内川」周辺のフィールドワークを通して、現在も引き継がれる「水管理システム」について学び、先人の知恵を「生きた遺産」として未来へ引き継ぎます。

◎説明【10分】 ◎内川周辺のフィールドワーク（内川・旧有備館及び庭園等）【90分】 ◎総括【10分】

■受入可能期間／通年 ■料金／700円～（1人）  
■該当市町村／大崎市（みやぎ大崎観光公社）



# 企業向け参加型SDGsプログラム 『世界農業遺産・大崎耕土で始めるSDGsプログラム』 (令和3年2月開催)

地元企業向けの

- 社会貢献
- 社員教育
- 福利厚生など

企業による  
**GIAHS資源の  
継承プログラム  
への参加を通じ  
たSDGsの達成  
への貢献を提案**



## ・考え方(趣旨)

### ■世界農業遺産とは

世界農業遺産とは、社会や環境に応じて何世代にもわたり継承されてきた特色のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、景観、農業と関わりのある生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な地域の仕組みを、国際連合食糧農業機関（FAO）が認定する制度です。



Food and Agriculture  
Organization of the  
United Nations



### ■SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



## ・農業遺産関連の主な取組とSDGsアクション例

### ① 大崎耕土の景観を生み出す「居久根」

大崎耕土の全域に広がる居久根には、約400年前から先人たちの知恵がたくさん詰まっており、人々の暮らしを守るだけでなく、多くの生きものを育てています。

「居」=家、「久根」=境界で、居敷境の意味があります。

- 減災の知恵：洪水による流木や強風から守る
- 自給の知恵：葉草や身近な野菜などが生活を支える
- 営農の知恵：トンボやカエルなどの水稲害虫の土着天敵を育む

#### アクション例

- ▶ 保全活動ボランティア
- ▶ 企業の居久根



④ 水田に浮かぶ森「居久根」



① ノスリ  
② アキアカネ  
③ アマガエル





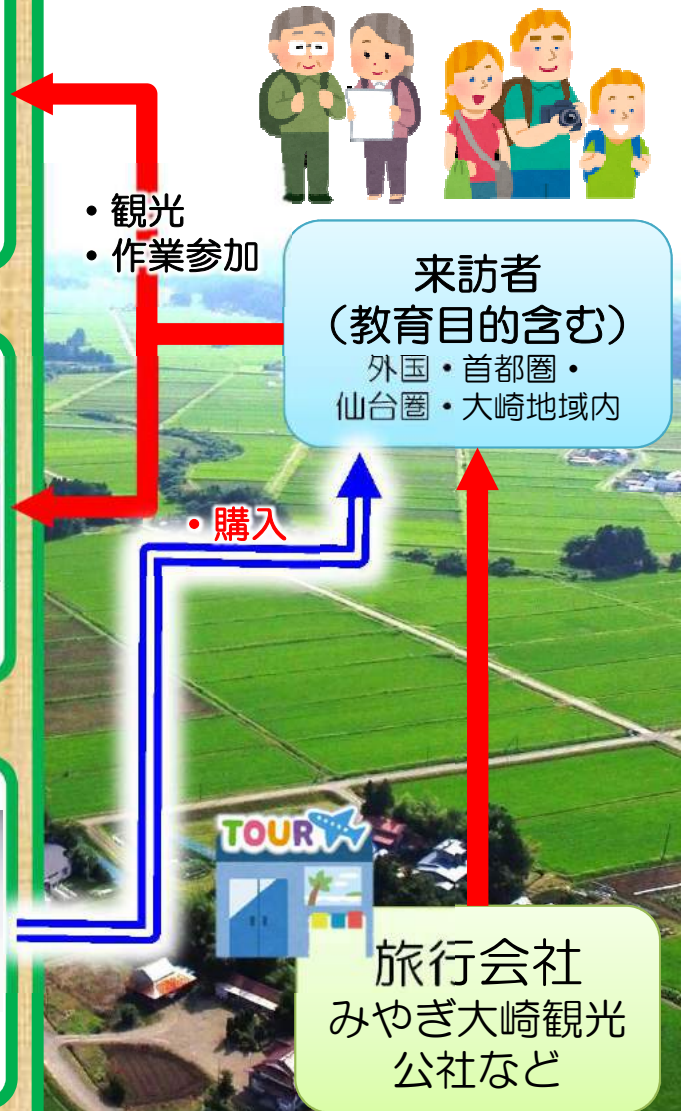
## 営農と暮らしを支える**自給自立的な** 生活の拠点

- 減災の知恵：洪水による流木や強風から守る
- 自給の知恵：薬草や身近な野菜などが生活を支える
- 営農の知恵：トンボやカエルなどの水稻害虫の土着天敵を育む





# 例) (株)〇〇・〇〇集落・居久根の守り人



## 2020取組 教育機関等と連携した人材育成

### 教育機関(中学・高校など)での人材育成

#### 【総合学習等カリキュラムへの取込】

- 古川黎明中学校
- 古川黎明高等学校

#### 【講師派遣】

- 6月23日：加美農業高等学校
- 7月 3日：古川黎明高等学校
- 7月30日：南郷高等学校
- 9月13日：南郷高等学校
- 9月30日：古川黎明中学校
- 10月16日：松山中学校
- 12月 7日：田尻沼部小学校
- 12月15日：古川黎明高等学校
- 1月20日：小牛田農林高校（予定）



### 各種団体での出前講座等実施

- 6月22日：東北大学宗教学研究室
- 8月17日：岩出山上野目地区自治振興会
- 8月17日：鳴子ダムインフラツーリズム
- 8月21日：多面的機能支払に係る活動支援研修会
- 8月21日：田尻すまいる園
- 9月17日：三本木上宿集会所高齢者の集い
- 11月15日：和太鼓合唱劇（田尻文化センター）

### 公民館職員対象研修会

- 7月14日：大崎市三本木地区
- 11月 5日：大崎市鹿島台地区
- 11月20日：涌谷町
- 11月30日：大崎市田尻地区

### 未来を担う子供たちの人材育成

#### 〇おおさき生きものクラブ活動

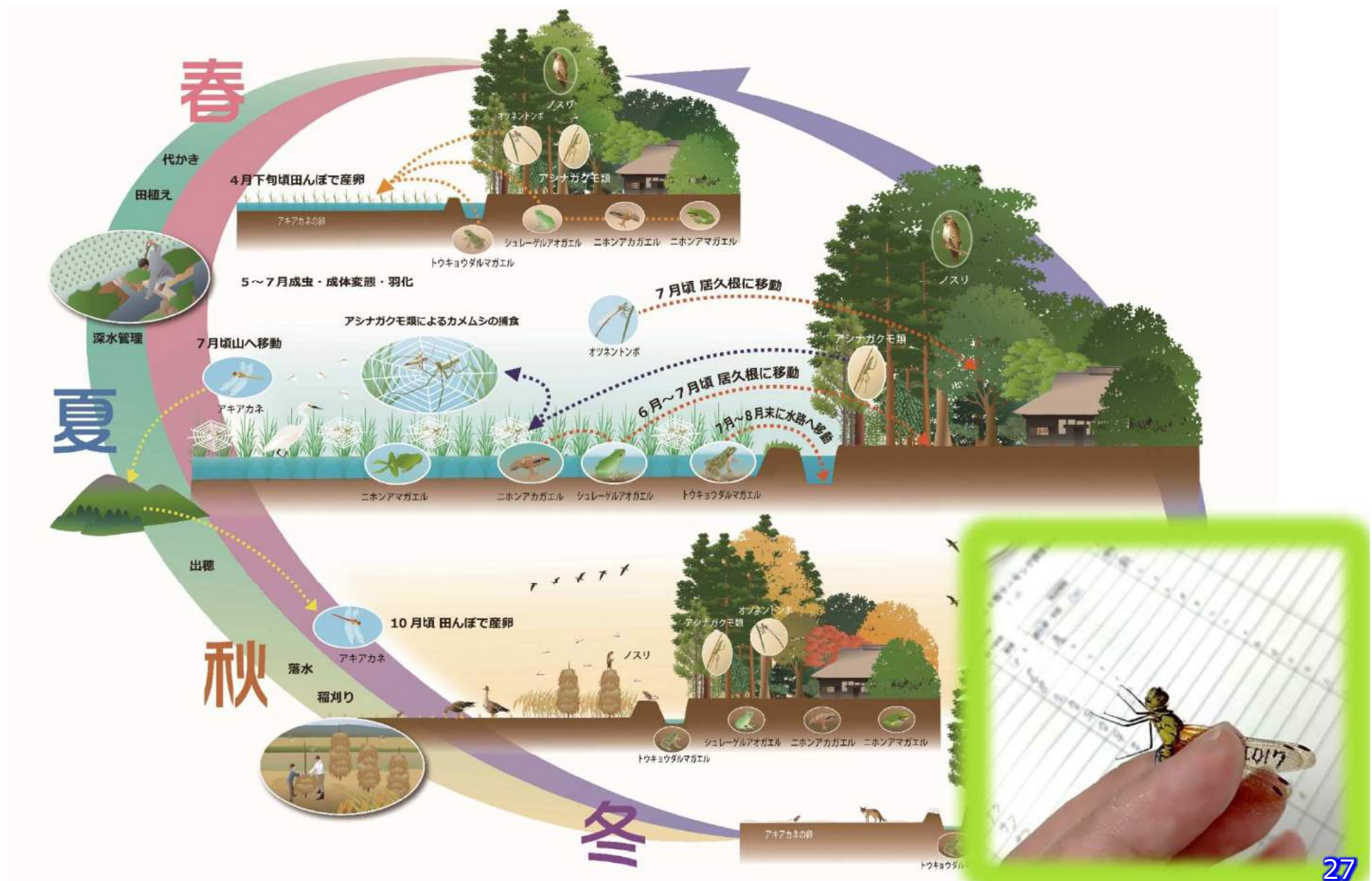
会員145名

- 田んぼの生きもの調査  
7月12日 82名参加（田尻）
- シナイモツゴとゼニタナゴを探そう  
8月1日 48名参加（鹿島台）
- 化女沼でバッタとり！  
9月22日 66名参加（化女沼）
- 木の実キノコ採り  
10月10日 49名参加（化女沼）
- いぐねの里の自然体験  
12月6日 45名参加（三本木）
- ガン類のねぐら入り観察  
12月27日（蕪栗沼）
- 鳴子の里山づくり体験  
1月16日（鳴子）





# アカトンボを通して**田んぼ**・**居久根**・**水源地の山々**の つながりを知る『アカトンボ見つけ隊プログラム』



**ご清聴ありがとうございました  
ございました**

